

地域で支えあう子育て

人と人とのつながりが希望を生み
子育てすることが未来へつながっていく



平成24年2月12日 第3回全国家庭教育支援研究協議会 名取市教育委員会

1

震災後の乳幼児の保護者は・・・

人とつながっていないことが不安をかきたてる
(話し合える友達や地域の人が必要)

小さい子供がいることが活動の制限になっている

生活や子供の将来へ不安を感じる

子供と一緒にいる喜びを感じている
一瞬一瞬を大事にしていきたい

2

私達にできる支援はなんでしょう？

キーワードは「希望」

3

【活動内容】

名取市家庭教育推進事業の実施協力
子育てサロン運営、公民館親子講座支援
小中学校家庭教育講座支援

名取市家庭教育支援チーム
「ぽっぽはうす」



NPO法人
「子育て応援団ひよこ」

【活動内容】

名取市那智が丘児童センター運営（名取市委託）
次世代育成事業等の実施
「ぽっぽはうす」への指導・支援

4

子育てサロン 「ぽっぽはうす」開催

親子が安心して集まれる場所を作りたい
いつものように普通に遊べる場所を作りたい
心がゆったりできる場所にしてあげたい

6月より増田児童センターで再開
9月よりイオンモール名取のイオンホールで開催
地元企業との連携
活動拠点の確保
被災地域の近隣で参加しやすい環境
時間延長（10:00～16:00）で自分のペースで参加

5

子育てサロン 「ぽっぽはうす」の取り組み

続けてこそ家庭教育支援

子供が生まれてから成長の段階に合わせた支援を続ける
子育てに切れ目なし！

地域とのつながりを深める(双方向支援)

地元サークルとの交流イベント開催
（コーラス・絵本読み聞かせ・わらべうた・昔話語り）
地域住民の有用感を引き出し、世代を越えた仲間作りを推進

サロンの中での部活動(目的のある活動に取り組む)

参加者の自主企画イベントを推進
自らが必要と感じる学びへの気づき
次世代支援者・リーダーの育成

6

地域連携 家庭教育講座の開催

9月より市内公民館で開催

地元民生委員・主任児童員・公民館サークルとの連携

地域とのつながりを深めるためのイベント開催

民生委員・主任児童員共催の子育てサロン

//

芋煮会

地元サークルとの交流会

(コーラス・絵本読み聞かせ・わらべうた・昔話語り)

**震災後の生活改善のための情報提供
意識改善のための講座開催**

7

学校連携 家庭教育授業実施

10月より増田小学校・増田中学校で実施

公民館・学校・地域の協働事業

家庭教育支援チーム・増田地区住民参加型親学習プログラム

震災後の心理的・環境的状况を反映

増田小学校	環境学習(地産地消による地域復興) ケータイ安全教室(マナー、災害時情報他)	5年生 6年生
増田中学校	命の授業 誕生(妊婦疑似体験) 死(ターミナルケア) 薬物乱用防止セミナー	3年生 3年生 2年生
<p style="text-align: center;">一人一人の命の大切さを改めて見つめ直す 未来の親となる思い 身近な子育てや高齢者の看取りに視点をおく 命のはかなさ大切さ、生きていることへの感謝</p>		

キーワードは「希望」

9

希望とは何でしょう？

いろいろな希望がある

将来の幸せを思うことで
心の中が明るくなれるもの

困難に直面した中で人と人の
つながりが希望を生むのでは
ないか

10

地域とのつながりを深める

家庭教育支援チーム

キラキラの会（読み聞かせボランティア）

花づな会（わらべうた・手遊び・読み聞かせ）

地域の方々（民生委員・主任児童員・サークル）



コラボレーション

地域への所属感を持つことで心の安定につなげる
活動内容を紹介するとともに、身近なボランティア
への参加を促す

11

自発

以前に取り組んでいたことややりたかったことを思い出す



自分がこれからしていきたい、してあげたいという活動



活動ができるように環境を整えたり機会を作る



一緒にやりましょう！

12

家庭教育支援チーム 「ぽっぽはうす」への支援

長崎県家庭教育支援チームからの支援

初めて体験する支援者への支援の形

何を支援してもらうか？

スケジュール調整は？

現場の運営方法をどうする？

支援されることに慣れていない・・・

13

家庭教育支援チーム 「ぽっぽはうす」への支援

長崎県家庭教育支援チームからの支援

自然体

安心感

支援者として必要なこと

交流することの喜び

14



子育てすることが未来へつながっていく

長崎県家庭教育支援の取り組みについて

NP親育ちプログラム事業から ながさきファミリープログラムへ ～乳幼児期から中学生の子どもを持つ親のために～

長崎県福祉保健部こども政策局こども未来課 松崎 邦彦

長崎県子育て条例

子どもや子育て家庭を県民総ぐるみで支援します。

子どもは地域の宝です。子どものためにできることから始めましょう！

子どもは地域みんなで育てよう。

子どもの問題の予防と早期発見に努めよう。

地域の子育て支援に、団体として取り組めましょう。

学校や保護者の取組に協力しましょう。

子どもを育てる最も重要な責任は保護者にあります。

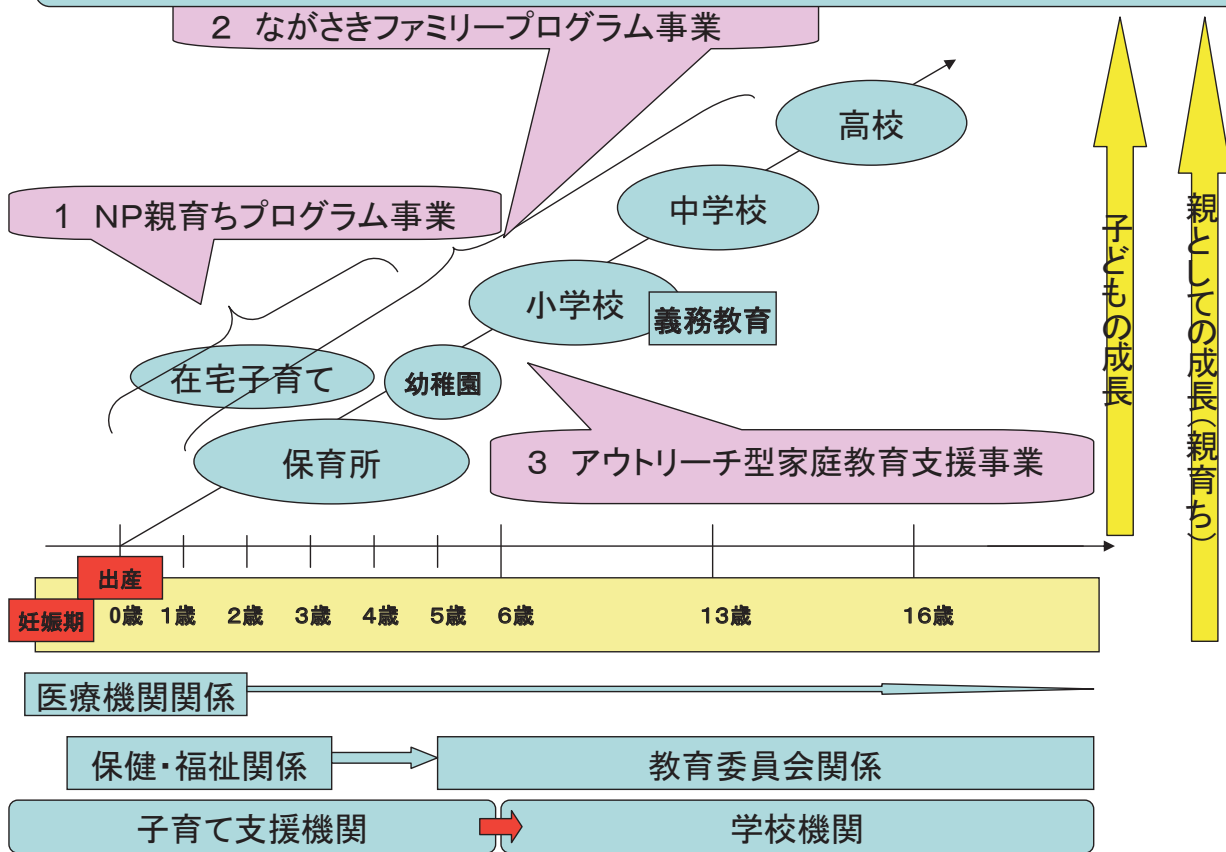
いつの時代も子どもは社会の宝であり未来への希望です。

子どもを育てる最も重要な責任は保護者にあります。

条例のめざすもの

- 少子化対策の推進
- 子どもの健全育成の支援
- 児童虐待防止の徹底

長崎県の子育て支援・家庭教育支援事業



NP親育ちプログラム事業



「NP:ノーバディパーフェクト
ファシリテーター養成講座」

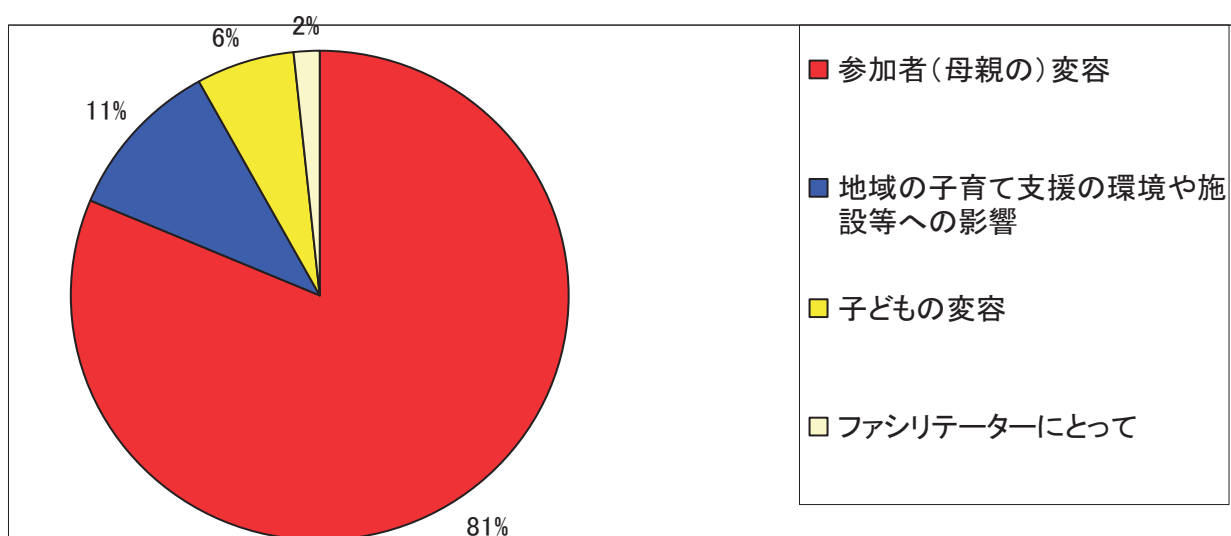
～完璧な親なんていない～
「親育ち講座」の実施



「NP完璧な親なんていない」 親教育プログラム

- NPプログラムは、カナダ保健省と大西洋4州の保健部局によって開発され、1987年カナダ全土に導入された。
- 目的…親が自分の長所に気づき、健康で幸福な子どもを育てるための前向きな方法を見出せるよう手助けするため
- 講師ではなくファシリテーター（進行役）
- 対象者……0歳から5歳までの子どもを持つ親（1回だけ、14名定員）
- 託児……子どもを預かり。親子分離した状態
- 内容……1回2時間程度、週1回、8週間にわたって行う。参加者が話し合う内容を決めていく。
「周りの人との付き合い方／パパ・姑・ママ友・地域」「子どもの食生活」「子どものしつけ／ほめ方・しかり方」「いらいら解消法」「時間の使い方／こうしたらうまくいく」など

NPプログラムの成果（効果）



子育てに関して安心感が生まれ、前向きな考え方になる。
ママ友ができ相談出来るようになる。参加者どおしのつながりができる。
子育てに関する悩みや不安、育児ノイローゼの軽減、虐待の予防につながる

NP親の感想から

- 本当に楽しかったです。いつもは家で子ども達と過ごすだけだが、あつという間に感じるぐらい充実しました。これで終わりだと思えば寂しいです。もっとみんなと話したいです。
- 会ったこともない人、年齢もバラバラな人と接する事、悩みを言い合えた事、すごく楽しい時間が過ごせました。慣れた頃に終わるので半年位あるといいなあ～と思いました。
- 子育てをする中でこんなに心強い仲間ができたことは一生の宝です、ありがとうございました
- 子どもがママ、ママと甘えてくれるのも人生の中で僅かな時間だと思うと日々大切にしたいし、子ども達に生まれてきてくれて有難うの気持ちです

ながさきファミリープログラム(親学習プログラム)

目的: 子どもの発達段階に応じて、参加者(親)が、親学習プログラム(子どもとの接し方・子どもの心身の発達・基本的な生活習慣・親子のコミュニケーションなど)について、参加者同士の話し合いや「ワーク」等を進める中で、子育てに必要な知識やスキルを主体的に学習し、親としての学びを深め、家庭の教育力の向上を図る。

また、プログラムを受講した親同士がアイスブレイクやグループ学習を行うことで、親同士が交流し支え合える関係づくりやネットワークの構築に役立てる。

今までと違う家庭教育講座

★講義形式の家庭教育研修会から体験参加型・ワークショップ形式の学習会へ

★講師でなくファシリテーター

参加者(親)主体

参加者がつながるような、アイスブレイクやワークショップ

学習プログラムの流れ

- 1 アイスブレイク
- 2 ワーク
- 3 グループ学習
- 4 発表
- 5 まとめ

・50分～70分程度
途中に、ティータイム
の休憩を入れる。

例:「上手なほめ方、しかり方」

進行役:ファシリテーター

- アイスブレイク
 - ・デートゲーム
 - ・自己紹介、グループ編成
- 親子の事例について、ワークシート作業
- 参加者による役割演技
- 役割演技の感想
- グループでの話し合い
 - ・事例の内容について、親の気持ちや子の気持ち、気づいたことを模造紙にまとめる。
- グループ発表
- まとめ
 - ・ファシリテーターからの上手なほめ方について話を聞く。
 - ・参加者が今日の感想や今後のほめ方、しかり方について、どうするか、発表する。

18 プログラム

長崎県家庭教育支援プログラム(「ながさきファミリープログラム」)一覧

項目\年齢別	内容	2～5歳児		小学校入学前	小学校低学年	小学校高学年	中学校
		2～3歳児	3～5歳児				
家庭のルール 親子関係 親の願い	子どもの自己主張に対してどう対応すべきか						
	こんな子どもに育てほしい						
	我が家のルール						
子どもの心と 体の成長	乳幼児期の体と心の発達について (脳と心のメカニズム)～刺激が脳を 育てます～	○					
	小学校期をよりよく過ごすために 小学校就学について考えてみましょう						
	思春期の体と心の発達について						☆
しつけ 基本的な生活習慣 食育 <small>○子どもの基本的な生活習慣(早寝早起き朝ご飯・食生活と健康について・家庭学習の定着)</small>	○上手なほめ方 しっかり方				○☆		
	早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣について						
	子どもの食生活を考えよう						
	家庭学習の習慣をつけるために						

【プログラムの主な実施場所】

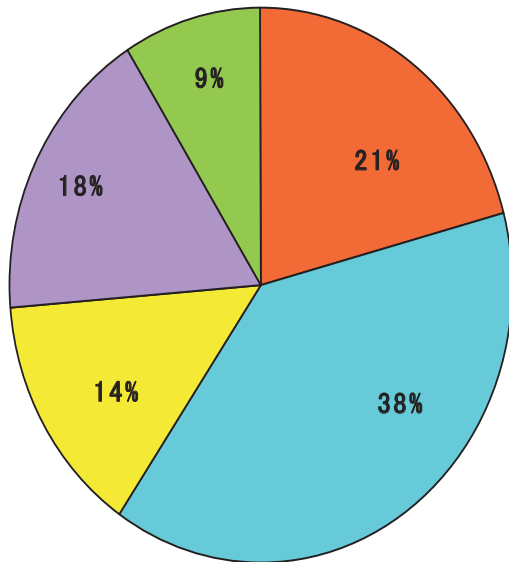
- ・保育所、幼稚園：保護者会
- ・学校等：入学説明会，PTA 研修会，学級懇談会，保護者会，
- ・地域等：家庭教育学級，子育てサークル，家庭教育支援サークル
- ・健診等：就学時健診，乳幼児健診
- ・公民館等：家庭教育講座

【ファシリテーターの人材養成】

- ・平成23年度から25年度までの3ヶ年間で、7市町ずつ各市町20名～30名程度養成。
- ・ファシリテーターには、各市町から推薦を受けた保育士(保育所職員)や幼稚園教諭(幼稚園職員)・小中学校教諭(退職者も含む)・PTA・福祉関係者・各市町社会教育主事・公民館等職員・主任児童委員などが受講対象者

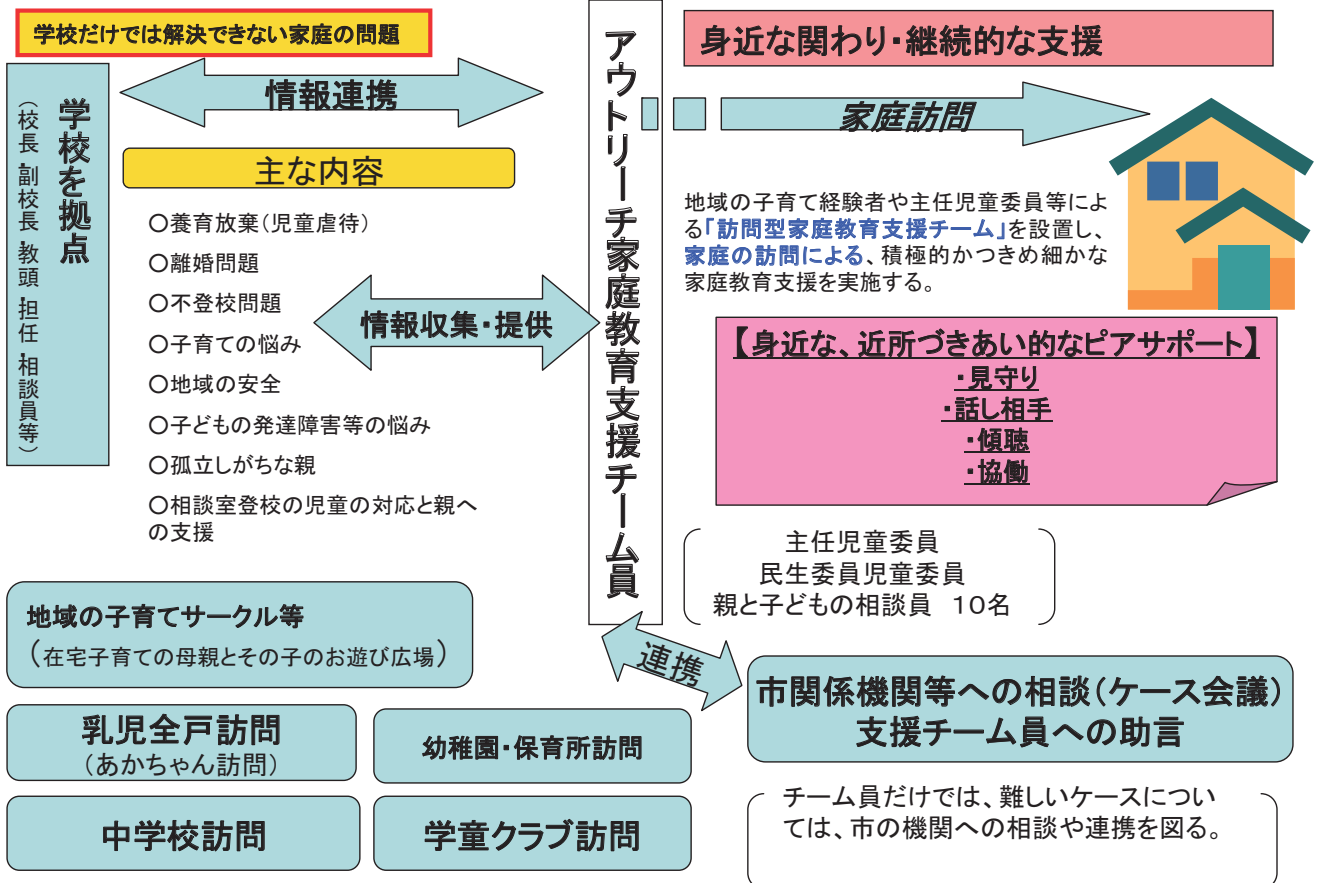
プログラムを行ってのアンケート結果から

学習会の感想



- ワークショップ形式で、楽しく過ごせた。
- 子育ての悩みを共有できた。他の家庭の子育ての情報交換ができ、参考になった。勇気つけられた。
- 初めての方と交流できた。
- 学習会の内容がためになった。子育てのアイデアをいただいた。
- その他

アウトリーチ(訪問)型家庭教育支援



石巻市仮設住宅内集会所での子育てサロンにて



名取市イオンモール内での 子育てサロン「ぽっぽハウス」にて



石巻市家庭教育支援チーム員との 合同研修会（NPプログラム体験版の実施）



亘理町仮設住宅での子育て支援



長崎県の子育て応援隊

